

み⁺なみ⁺やま

2026年 冬
vol.119

特集

明日のために、今知ろう

1~4 年齢を重ねると当たり前!?

認知症

5 私らしく、家族らしく

• 妻が認知症!? 二人の暮らしに不安

6 インフォメーション

裏表紙 地域とともに、愛泉会



年齢を重ねると 当たり前!? 認知症

年齢を重ねると、白髪やシワが出てくるように
脳の働きに衰えが生じるのも老化現象のひとつ。
ただ、白髪やシワと違って、症状が進むと生活に支障が出てしまう…。
人生100年時代。いつまでも「私らしく生きる」には、
認知症の理解を深め、認知症ケアについて知っておくことも大切です。
自分のために、家族のために。脳の「老い支度」、始めませんか？

高齢者の
3人に1人が
認知症に!?

2060年には高齢者の3人
に1人が認知症になる可
能性があると厚労省は予測※1

最もなりたくない
病気の
第1位

2024年に実施した調査で
第2位「がん」と大差をつ
けて「認知症」が第1位※2

認知症の
45%は
予防可能

認知症リスクを減らす行動に
より、約45%は予防したり遅ら
せたりできる可能性がある※3

※1 内閣府「平成29年版高齢社会白書」
※2 太陽生命少子高齢社会研究所「認知症に関する調査」
※3 医学誌「ネイチャー・メディシン」に掲載された研究報告（2025年1月）

医療・介護の大切な視点、 「その人らしさ」を支える認知症ケア

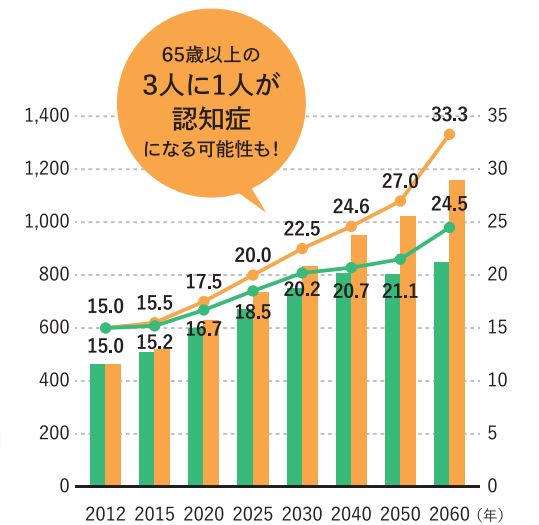
医療の進化で平均寿命が延びることによって、加齢に伴う認知症のリスクに直面する人が増えています。認知症の発症リスクは75歳から急激に高まるとされ、厚生労働省のデータによれば、2060年には65歳以上の3人に1人が認知症になる可能性もあるとか。もはや高血圧のように、ごく身近な病気といえるかもしれません。

認知症の症状が進むと日常生活を送れなくなるのでは？と思われるがちですが、どのようなことで困っているのかを見極め、必要とされる支援を提供できれば、今までどおりの生活が続けることも可能です。

認知症ケアにおいて忘れてならないのが「人としての尊厳」です。認知症だからと子ども扱いをしたりすると、その人は心を閉ざし、信頼関係を築くことができなくなってしまいます。医療・介護スタッフは、その人に適した治療やリハビリを提供するのはもちろんのこと、認知症の向こうに隠れている本来のパーソナリティを見逃すことなく、病気を抱えながらも「その人らしく生きる」を支えていくことが大切と考えています。

院長 太田 信吉

65歳以上の認知症患者の推定者と推定有病率



65歳以上の
3人に1人が
認知症
になる可能性も!

各年齢の認知症有病率(推計)
一定の場合(人数) 上昇する場合(人数)
一定の場合(率) 上昇する場合(率)

出典：内閣府「平成29年版高齢社会白書」

愛泉会では、認知症ケアに力を注いでいます

認知症ケア向上委員会

約9年前、看護部が立ち上げたワーキンググループが母体となり、その数年後、院内に「認知症ケア向上委員会」を発足させました。毎月第3木曜に多職種メンバーが集まり、それぞれ



の専門性を活かした取り組みを積極的に行っています。

認知症サポート医が3名常駐

独立行政法人国立長寿医療研究センターの研修を修了し、「かかりつけ医」への助言等の支援、専門医療機関や地域包括支援センター等との連携を推進する認知症サポート医。



愛知国際病院には3名が常駐し、間接的にも患者さんを支えています。

短期集中型認知症リハビリ

認知症になると介護度も上がりやすくなってしまうため、超強化型老人保健施設「愛泉館」は、生活で必要となる動作などのリハビリに加え、入所後3か月間は、認知症の方を対象にした「短期集中リハビリテーション」を提供し、在宅復帰を促します。



ユマニチュードを全職員が学ぶ

認知症ケア技法のひとつ「ユマニチュード」を職種に関係なく、全職員が学びます。「あなたのことを大切に思っています」という哲学に基づくユマニチュードは、認知症患者さんとの関わりに限らず、医療人として、人として、大切なことだと考えています。



愛泉会と地域の 認知症ケアネットワーク

早くから認知症ケアに取り組んできた愛泉会では
地域活動→外来(通院)→入院→入所というように
地域ともつながりながら、包括的な認知症支援を実現しています。

外来 予防+早期発見につなぐ

「もしかして、認知症かな?」と思ったら、まず外来へ。医師が簡単な問診をして、認知症の疑いがあるようなら、脳のCT撮影など、より詳しいテストや検査を行います。愛知国際病院には、神経内科を専門とする医師もあり、さまざまな角度から診断することが可能です。認知症の症状を疑って受診したら、他の疾患が見つかったケースなどもあり、気になる症状があれば、まず医師に相談することが大切です。

ご家族だけで頑張らなくても大丈夫

認知症でも介護保険を使わず日常生活を送っている方はたくさんいらっしゃいます。ただ、状況が変わってきたときに「頼ってみよう」と思ってもらえる関係づくりを心がけています。不安になったときは、いつでもご相談ください。さまざまな方法でお支えします。

愛知国際病院 外来看護師長 高橋 あすか

地域活動 認知症カフェ Report!

認知症カフェ(Nカフェ)とは「地域で認知症を支えよう」という集まりで、日進市では現在5会場で専門職を交えながら交流を楽しむ時間を提供しています。その中のひとつ、五色園認知症カフェは住民主体で昨年4月に念願のオープンを迎えました。11月27日(木)の第7回開催日には愛知国際病院が認知症ワークショップを企画。「認知機能が低下している人を地域で見つけたとき、あなたができそうな支援はなんですか」というテーマでグループごとに話し合うなど、あっという間の1時間。最後は宮崎医師から「認知症の方のケアは、一人で抱え込まないで」というお話がありました。

地域と関わりたい、
支え合いたいという想いが
たくさん聞けた

認知症と聞いても感じ方や
捉え方は人それぞれだと
知ることができた



普段(認知症について)
考えていることを、みんなと楽しく
話すことができてよかった



合言葉は 「それゆけ愛泉会!」

地域の集いの場に出向き、日々の生活を支える活動を大切にしています。ちょっとした不安や困りごとを気軽に相談できる存在となれるよう、健康情報だけではなく、安心もお届けしたい。地域のみなさんが必要とすること、に、愛泉会らしく寄り添っていきたくと思っています。



入院 認知症サポートケアチームで支える

愛知国際病院の地域包括ケア病棟では、認知症を併発している患者さんも少なくありません。そこで、医師・看護師・薬剤師など多職種で構成されたDST(認知症ケアサポートチーム)が病棟を回り、ケアがスムーズにいていない患者さんについて、どうしたら良いかアイデアや意見を集め、穏やかに過ごしていただけるよう、改善を目指します。また、あたたかい日差しが差し込むラウンジで体操したり、レクリエーション的な時間を設けたりすることで、患者さんの前向きな変化を促します。

患者さんを知ることからケアは始まる

入院時、ご家族やケアマネさんに、患者さんの趣味や好きなこと、どのように家で過ごされているかお聞きするようにしています。編み物がお好きな方なら「見せてもらえますか」と声がけすると、いきいきと教えてくれたりするんです。相手をよく知ること、興味を持つこと。そこから認知症ケアは始まるのかもしれない。

愛知国際病院 病棟看護師 高柳 美月



入所 認知症短期集中リハで

家にじっとこもっていると、認知症は進行しやすいといわれます。生活空間を提供する老人保健施設愛泉館は、ユマニチュードの技法も積極的に取り入れ、運動、口腔ケア、レクリエーションなどを通じてスタッフがこまめに声がけしているので、いつも明るくにぎやか。自宅でぼんやり過ごして意欲低下が進んでいる方も、入所してしばらくすると、ゲストとおしゃべりしたり、笑顔が見られたりすることも珍しくありません。また、愛泉館では3カ月間の「認知症短期集中リハ」を提供しており、一人ひとりに合ったプログラムを通じて意欲向上などを促します。

ユマニチュードとは?

フランス発祥のケアの技法で、「人間らしくある」という意味の造語。心に寄り添う包括的ケアを実践することで、より良い関係を築きやすくなります。愛泉会では、医療や介護の現場でユマニチュードを取り入れるだけでなく、ご家族にユマニチュードに基づくケアのアドバイスをすることもあります。



スタッフより

ユマニチュードで学んだ 「ゲストを信じる」というチカラ

老人保健施設 愛泉館 介護主任 細川 春菜



ユマニチュードの研修を受けるまでは、認知症ケアについて十分理解しているつもりでした。ところが、研修で学んだことを半信半疑でメンバーと実践したところ、驚く結果が。入浴嫌いで、すぐ「警察呼ぶぞ〜」と怒鳴ってばかりのゲストが、穏やかに入浴するようになったんです。怒りっぽいのは、病気がそうさせているだけ。周りの関わり方で、「その人らしさ」が戻ることもあるのだと実感しました。ゲストの反応が良くなると、ケアが楽しくなりました。もちろんうまくいくことばかりではありませんが、ゲストを信じて「その人らしさ」を支えるケアを続けたいと思います。

患者さんのご家族より

たくさんの人に支えられ、主人らしい 最期を迎えることができました

ご家族さま



昨年2月、主人が旅立ちました。3年ほど前に認知症が進み、愛知国際病院に通院するようになり、認知症カフェ、体操教室、愛泉館のデイサービス、訪問看護、レスパイト入院、特養と、症状に合わせて環境もどんどん変わっていきました。遠くに住む息子に「ひとりで抱えず、周りを頼ること」と言われ、素直に話そうにしたら、本当にたくさんの人が私たちに寄り、助けてくださいました。主人は認知症になってからも楽しそうに歌ったり、びっくりするほどかわいい笑顔を向けてくれたり、新たな一面も見せてくれました。支えてくださったみなさんに心から感謝しています。

私らしく、家族らしく

愛泉会はお本人やご家族の「想い」をつなぐ選択を応援します



相談者：83歳男性

3カ月前、妻が玄関で転倒し足を骨折しました。救急車で運ばれた大学病院で手術をして2週間後、リハビリの病院へ転院。自宅復帰を目指して歩行訓練をしていますが、穏やかだった妻がなぜか怒りっぽくなり、夜もあまり眠れないようです。看護師さんにいろいろ相談するなかで勧められた「長谷川式」という検査で、軽い認知症があると診断されました。退院後、以前のような生活に戻れないのではと、一人で暗い気持ちになっています。



突然始まる介護、自分だけで抱えようとせず、ご家族や地域の方々、社会福祉資源などの助けも借りましょう。

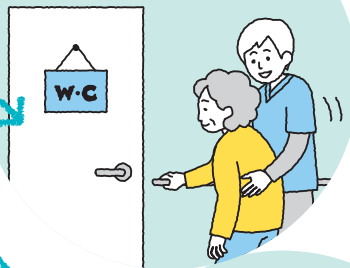
介護保険の申請



入院中でも申請は可能です

介護保険で社会資源を活用すれば、自宅生活への不安が軽減されることも。市役所への申請が大変な方は、包括支援センターのケアマネジャーにお願いしてみましょう。

老人保健施設へ入所



自宅復帰に備える3カ月の集中リハビリ

退院後の生活が不安な場合、いったん老健に入所し「トイレは自分で」など個別目標を立て、生活に根差したりリハビリプログラム(3カ月)を受けると安心です。介護保険で自宅改修を行うのもお勧めです。

訪問診察



ムリな通院は避けるほうが安全です

退院後、外来通院が難しければ、訪問診察という選択肢もあります。待ち時間がなく、悪天候でも安心なうえ、医師や看護師が生活環境に適した介護・ケアなどをアドバイスすることも少なくありません。

ポイント

ケアマネさんや外来スタッフの視点やアドバイスを有効に！特に認知症の方にとって環境は大切。在宅支援を受けながら慣れ親しんだ自宅で過ごす方法を一緒に考えましょう。

相談できる、一緒に考えられる、愛泉会。

「ご本人やご家族の不安を受け止めながら、退院後の生活を一緒に考えます」

- ☒ 入院した時から、退院後のイメージを共有することを大切にしています。これまでの生活や過ごし方のご希望をお話ください。
- ☒ 認知症の症状は、住み慣れた自宅に戻ると落ち着くという例もよくあります。ご本人の頑張りを一緒に応援していきましょう。



まずご相談



愛知国際病院 地域連携室

☎0561-73-9179 (月曜～土曜 8:30～17:30)

Information

インフォメーション

愛泉会

愛泉館、カナンに新ユニフォーム登場

老人保健施設愛泉館と有料老人ホームカナンが、スタッフユニフォームをリニューアルしました。カラフルなスクラブで、背面には法人ロゴなどをデザイン。活動的で快適なスクラブに生まれ変わり、これまで以上にチーム力を発揮しながら、ゲストにさまざまなケアを提供していきます！



利用者さんからも高評価！



背面

背面

愛知国際病院

処方箋をFAXできるようになりました！

外来の受付横に処方箋FAXコーナーを新設しました。「くすりの窓口」サービスを利用したもので、タブレットを操作して簡単にFAXを送ることができます。これにより、調剤薬局の待ち時間が短くなります。ぜひご利用ください！

- 【流れ】STEP① 利用薬局を選択(病院近く、電話番号検索など)
STEP② 連絡先、おくすり手帳の有無などをタッチで入力
STEP③ 専用FAXでデータ送信！



タッチで入力できます！

愛泉館

あいち介護技術コンテスト2025でグランプリ受賞

11月23日(日)に開催されました『あいち介護技術コンテスト2025』におきまして老人保健施設愛泉館 入所介護福祉士 袴田恒彦さんが、見事グランプリに輝きました！愛泉館がグランプリを受賞するのは、昨年の通所介護福祉士 間瀬綾さんの受賞に続いて2度目で、2年連続で1位獲得という快挙を成し遂げました。日頃の業務で身に付けた愛泉館介護職員の技術がこのように評価されることは誇りであり、同時に身の引き締まる思いでもあります。この名誉に恥じないよう、職員一同、これからも専門職としての知識や技術を高め、地域の介護、自立支援、介護予防の拠点施設となるよう邁進してまいります。



受賞者のメッセージ

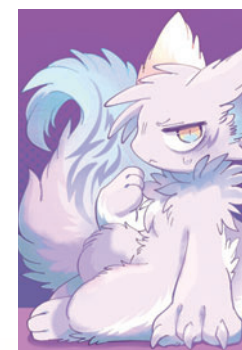
グランプリ受賞にとても驚きましたが、介護士として身に余る評価をいただいたことを、とても嬉しく思います。今回の結果に満足することなく、より一層、質の高い介護サービスを利用者さんに提供できるよう努力を続けていきます。

表紙のイラスト

自分らしい表現を追い求めて

冬冬の表紙で描いたのはシメナガ。「雪の妖精」と呼ばれている鳥で、白くてふわふわの豆大福のよう。身を寄せ合っている姿も素敵です。この一年、表紙イラストという貴重な機会をいただいたことをとてもありがたく思いながら取り組みました。やわらかくあたたかみのある雰囲気大切に、それぞれの季節らしい色味にもこだわって描けたことに満足しています。私は生き物やファンタジー世界について考えるのが大好きで、将来はゲーム系のアートワークデザイナーを目指しています。ものをよく観察して、自分の好きな部分を落とし込んだデザインを心がけて、これからも自分らしい絵をたくさん描きたいです！

名古屋学芸大学 メディア造形学部 デザイン学科 3年 前田 理央香さん



編集こぼれ話

認知症のご主人を介護されてきた奥さまからのお話。ドライブから帰りがなくて困っていたとき、愛知国際病院に立ち寄ったら、通りかかった職員が帰るように促してくれたことが何度もあったとのこと。もらい泣きしながら笑って聞いていられたのは、奥さまを通じてユマニチュードの「かけら」を受け取ったからだと思います。また続きを聞かせてくださいね！(諸石)



あなたと共に、パートナーシップ宣言

わたしたちは、患者さん・ご利用者さんやご家族の診療・介護への参加を推進しています。



健康
イベント

2026年2月27日 金

医師と考える「私らしい」暮らし方
～無理なく続けられる暮らしの「心得」～

みなさんは毎日の暮らしでどんなことを大切にしていますか。わたしたち愛泉会は「住み慣れた地域で暮らし続けたい」という想いに寄り添い、医療や介護サービスを幅広く提供しています。今回の健康講座では老年医学に長く携わる井手医師が、普段の診療で患者さんにお伝えしている暮らしの「心得」を地域のみなさんにお届けします。講座のあとは、医師や看護師との茶話会も開催！楽しく健康について考える時間を一緒に過ごしませんか。

【講師】医療法人財団 愛泉会 理事長 井手 宏

【時間】14:00～15:30 【定員】60人(要予約) 【場所】愛知国際病院 ホスピス研修室 【参加費】無料

イベントに関するお問い合わせ

☎0561-73-7721 (病院代表)

✉ f.moroishi@aisen-kai.jp (担当: 諸石)

みなさん、
ぜひお越しください



【看護師 presents】

良い睡眠は、健康につながる

眠れない、夜中に目が覚める、お薬とのつきあい方など睡眠の悩みは人それぞれ。チェックシートを使いながら、眠りについて一緒に考える講座です。



専門職が地域で行う
「出前講座」も好評です！

教育
連携

日進市内の園児さんの作品を
ホスピタルアートに！

通院とお見舞いで来院される方の緊張がすこしほぐれるように願って、当院ではホスピタルアートの活動を始めています。日進市藤枝町にあるはくさん幼稚園の園児さんが制作してくれた塗り絵や折り紙などの作品を不定期で掲示。季節や行事に合わせた「ほっこり」する癒しの時間、みなさんもぜひお楽しみください。



女子
サッカー部

愛知東邦大学女子サッカー部
SDGsに取り組んでいます

愛知東邦大学女子サッカー部は日進市を拠点に活動し、今年からSDGsにも積極的に取り組んでいます。昨年、愛知東邦大学で開催されたグランパスコンテストのSDGs企画参加をきっかけに、日進市役所と連携したフードドライブや、アルペン様協力のウェアのリユース活動、「SDGs愛知Expo」での発表など、さまざまな交流を通して、SDGsについて深く学ぶようになりました。今後ともたくさんの地域や社会とつながりながら、より多くの方から応援されるチームを目指して邁進していきます。



サッカーからつながる
社会貢献活動！

地産
地消

旬を迎えます！日進市内の
採れたてイチゴの楽しみ方

いちご園BRUNO

日進市で新鮮ないちごを気軽に楽しんでもらいたい、そんな思いから「いちご園BRUNO」が誕生しました。主に「よつばし&すず」を中心に減農薬の高設栽培システムで栽培。新鮮ないちごをお腹いっぱい楽しんでいただけるようにいちご狩り(予約制)を導入し、収量によっては直販・パック販売も提供しています。直売に関しては、当日にお電話でご確認ください。ホームページ



ホームページ

【営業時間】9:30～15:00 ※営業日・営業時間は予告なく変更になる場合があります

【TEL】藤島本店 0561-72-7373(月・火・金曜) 本郷店 0561-65-3999(月・火曜)

ブルーノバス(キッチンカー)

いちご園BRUNOで収穫された高糖度「よつばし・すず」をふんだんに使用した「濃厚いちごソフトクリーム」、「いちごフラッペ」、「いちごミルク」のオリジナルスイーツ3品を販売。採れたていちごを贅沢に使っているので美味しさは格別！※道の駅「マチテラス日進」を中心に outlets していますが、日によって outlets 場所は異なります。



米野木町のいちごもぜひ！
rikkefarm

10年間、南知多のいちご園にて研修をし、2024年に夫婦でいちご農園をたちあげました。減農薬を心がけ、安心安全ないちごを栽培しています。いちご狩りは導入せず、直売のみ。収量ではなく、味にこだわった栽培をモットーとしています。珍しい品種も栽培しているので、ぜひ一度お立ち寄りください。

【住所】日進市米野木町追鳥44(コメダ珈琲米野木町店の後ろ)

【TEL】080-3013-4865 ※駐車場あり

【営業時間】9:30～14:00

(12～5月の木・金・土・日曜)



Instagram

rikkefarmの
仲良し夫婦♪

【誌面協力】日進市農政課

いちごが売り切れ
次第、販売終了

賛助会員募集の
お知らせ

アメニティーの充実(施設環境、造園、園芸)、ホスピスでの諸行事、広報啓蒙活動、家族会の開催、ボランティアの活動、教育活動のために是非ご協力をお願いいたします。(ご入会いただいた方には年に4回広報誌をお送りいたします)下記の口座に会費をお振り込みください。

【①郵便局窓口利用】郵便振替口座 00890-5-3757

【②ATMおよびインターネット振込利用】ゆうちょ銀行(9900) 店番089 当座0003757

【①②口座名義】愛知国際病院ホスピス賛助会

【一口】1,000円(おいくらでも結構ですが、できましたら、5口以上でお願いいたします)



【医療法人財団 愛泉会】

- 愛知国際病院 ■ 老人保健施設 愛泉館 ■ 指定居宅介護支援事業所 愛泉館 ■ 日進市東部地域包括支援センター
- 訪問看護ステーション えまい ■ 有料老人ホーム カナン 【関連施設】アジア保健研修所(AHI)

〒470-0111 愛知県日進市米野木町南山987-31 Tel.0561-73-7721(代) Fax.0561-73-7728 http://aisen-kai.jp/

医療法人財団 愛泉会 広報誌「みなみやま119号」 発行日:2026年1月1日 発行人:井手宏 編集発行:法人だより委員会 編集長:近藤正嗣

※無断で複写、複製、転載することを禁じます。



お問い合わせ

【受付時間】月～土曜 8:30～17:30

医療
について

地域連携室

☎0561-73-9179

介護
について

日進市東部地域包括支援センター

☎0561-74-1300